

「PICS」とは何か？

PICSとは、ICU在室中あるいはICU退室後、さらには退院後に生じる身体障害・認知機能・精神の障害で、ICU患者の長期予後のみならず患者家族の精神にも影響を及ぼします（図1）。PICSは近年の救急・集中治療領域のホットトピックスの1つで、近年ICU患者における長期的な運動機能・認知機能・精神の障害として様々な報告がなされるようになり、市民および医療従事者へのPICSの啓発活動は2010年以降の集中治療医学における解決すべき重要課題になりつつあります。

PICSの3つの症状

1) 運動機能障害

PICSの運動機能障害として、肺機能障害、神経筋障害、全般的身体機能障害などがあります。特に重症疾患の罹患後に左右対称性の四肢のびまん性の筋力低下を呈する症候群をICU-acquired weakness

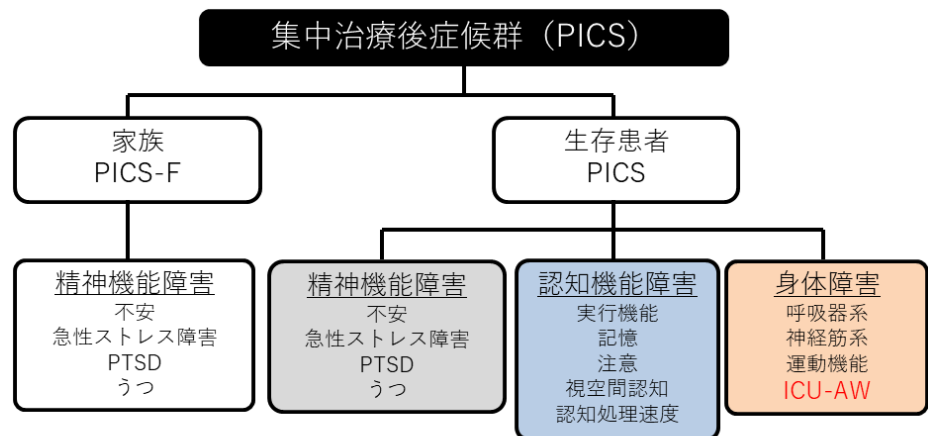


図1 集中治療後症候群(PICS)とは

(ICU-AW)と呼び、PICSの運動機能障害のなかで最も重要なカテゴリーとして注目されています。

2) 認知機能障害

認知機能障害は、ICU退室患者の30-80%に発症します。認知機能が障害された高齢者は、死亡率増加のリスク因子だけでなく、医療費の増加にも関連し、さらに家族の大きな負担となるため、大きな社会問題となります。ICUで遭遇する認知機能障害の多くはせん妄ですが、うつ病の発症による認知機能障害や高齢者では認知症の悪化なども認められます。

3) 精神機能障害

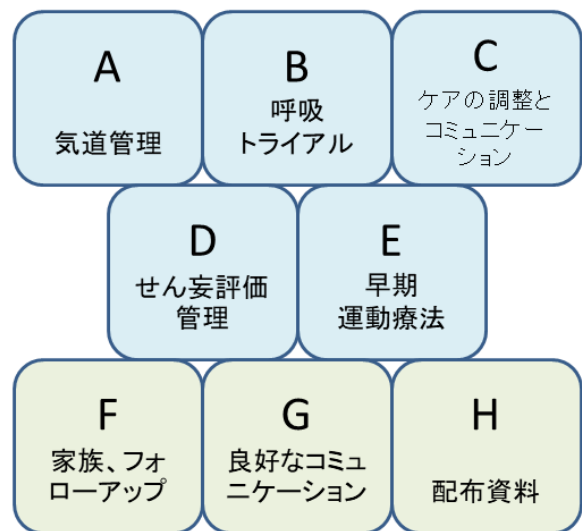
うつ病、不安、心的外傷後ストレス障害[posttraumatic stress disorder (PTSD)]がPICSの精神障害を構成する要素です。重症患者の生存者のうち、30%はうつ状態に苛まれ、70%は不安に苦しみ、10-50%はPTSDを発症します。そのため、可能な限り精神的なアセスメントを行い、適切な対応が必要です。

患者家族におけるPICS

PICSは生存しているICU患者でのみで発生する一方、PICS-Fは生存者および非生存者の家族で発生することがあります。これをpostintensive care syndrome-family (PICS-F)といい、5)の項で解説します。

PICSを予防しよう！

患者および家族における PICS の有病率を減少させるためには、危険因子を予防または最小化することです。ABCDE バンドルとは、人工呼吸管理患者の管理において PICS を予防するために ABCDE を頭文字とする管理をバンドルで行う概念で、2010 年頃より提唱され始めました。その後、さらに PICS を減少させるためならびに、PICS-Family (PICS-F) を予防するために「FGH」が加えられ、ABCDEFGH バンドルとなりました (図 2)。



まとめ

PICS とは、ICU 在室中あるいは ICU 退室後、

さらには退院後に生じる運動機能、認知機能、メンタルヘルスの障害です。さらには患者家族のメンタルヘルスにも影響を及ぼす。PICS 患者の長期予後改善には、PICS の予防をし、いかに ICU 患者およびその家族に質の高い生活を提供できるかが重要です。

図2 PICS予防のためのABCDEFGHバンドル

文献

1. Needham DM, Davidson J, Cohen H, et al. Improving long-term outcomes after discharge from intensive care unit: Report from a stakeholders' conference. *Critical Care Medicine*. 2012;40(2):502-509.
2. Davidson JE, Harvey MA, Schuller J, Black G. Post-intensive care syndrome: What is it and how to help prevent it. *American Nurse Today*. 2013;8(5):32-38.